

ベトナムマクロ経済 2020.6



<消費の動向>

ベトナムの小売売上高は、新型コロナウイルスの感染症の対策による規制が行われたことにより4月は前年同月比マイナス15.3%の落ち込みであった。しかし5月は持ち直し、前年同月比1.6%の増加となった。ただしインフレを調整すると実質ベースでは本格回復にいたっていない。

食料品の一時的な逼迫も見られ、豚肉の供給が不足する状況も見られたが、政府は、タイから一時的に豚を輸入するための積極的な政策をとることとなった。

さらに感染症の被害も抑えられていることからバー、カラオケ、クラブ等の再開も認められた。

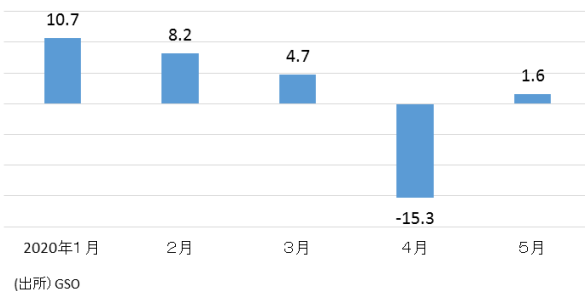
海外との航空便はまだ限定的にしか再開しておらず、また観光客の往来も規制されているため、消費の本格的な回復はすぐには期待できないもののベトナムにとっては内需の推移が経済成長にとって重要な要素となっている。

<輸出の動向>

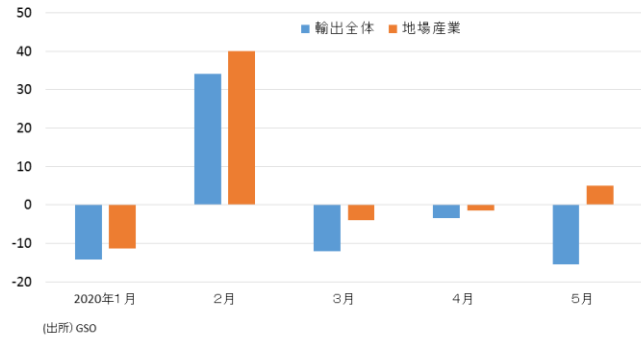
世界の景気後退を受けてベトナムの輸出も前年同月比マイナスで推移している。

従来は、外資系企業が輸出を主導していたが世界的な景気後退のために比較的低価格の商品を製造し、多国籍企業の流通ルートにあまり関わりのなかった地場産業の輸出が回復しつつあるものと見られる。年初来5月までの輸出伸び率の高かった品目としては、紙製品、玩具、貴金属、電線・ケーブル、化学製品などであった。輸出金額の大きい繊維・衣類は、前年同期比-14.5%の落ち込みとなった。

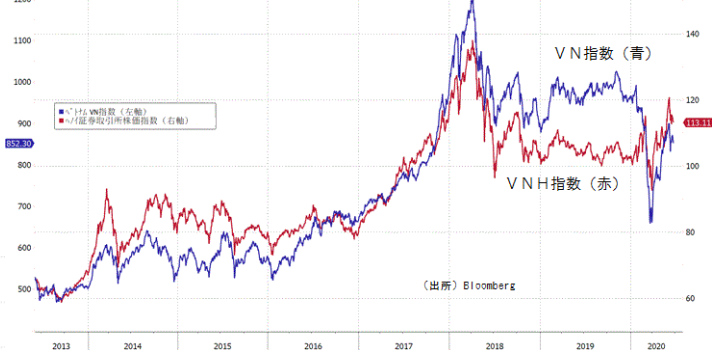
小売売上高
(前年同月比、%)



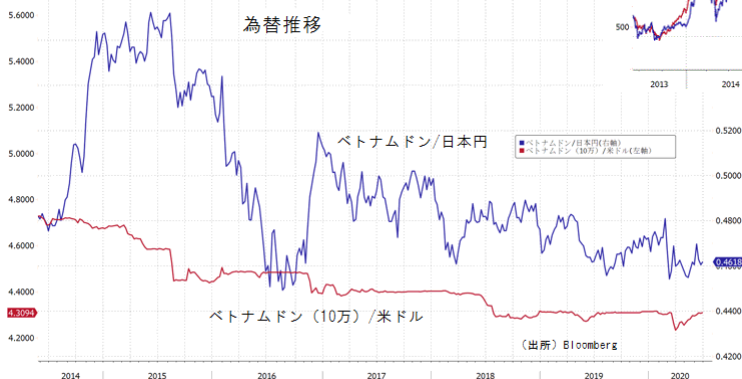
輸出の増減
(前年同月比、%)



ベトナム株価指数



為替推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

News20200626

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。